

## ドライブの装着

磁気ドライブ（HDD、FDD）と光学ドライブ（CDD/DVD）をケースへ装着します。  
HDD や DVD は 2 台装着する場合がありますが、今回はそれぞれ 1 台でした。

HDD、DVD とともにインターフェイスは最近のシリアル ATA です。  
尚、FDD は Windows XP 以降必須ではありませんが（メーカー製にはあまり装着されていない）、自作機では必ず取付けましょう。

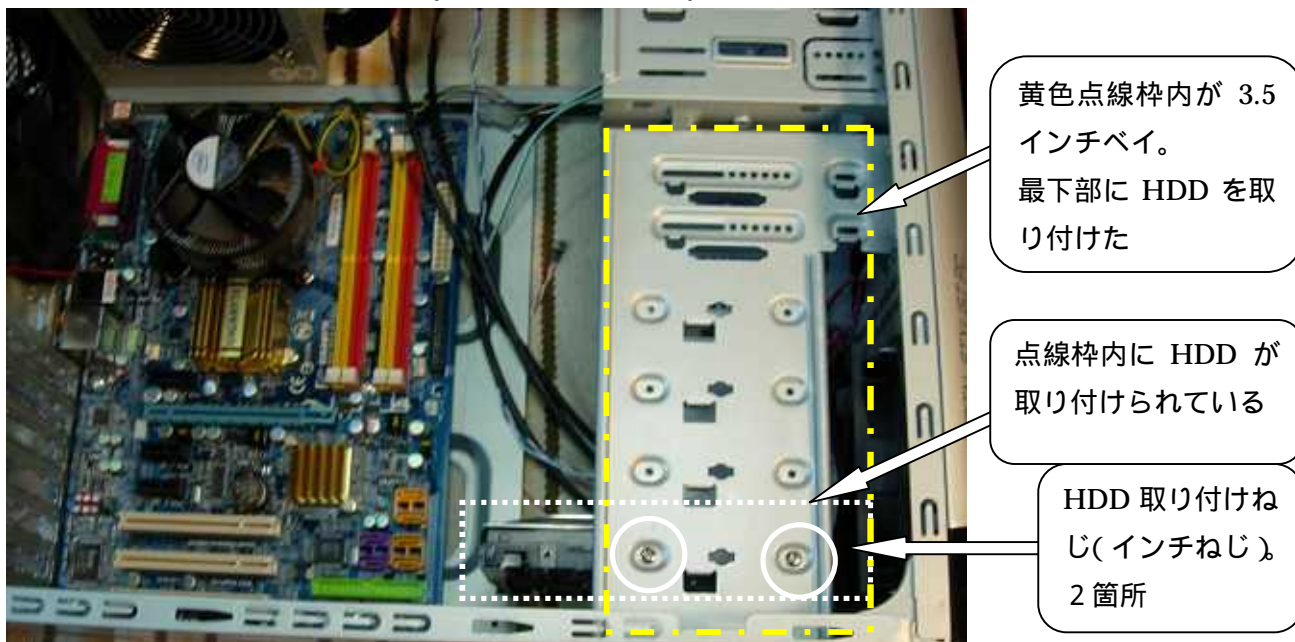
又、これらドライブの装着順序は決まっていますが、  
今回は HDD DVD FDD の順番で装着しました。

通常、HDD を装着するねじはインチねじを、FDD・光学ドライブはミリねじを使います。

ドライブの装着には 5 インチベイと 3.5 インチベイがあります。HDD は 3.5 インチベイ（シャドウベイ）に取り付けます。

今回組立てのケースは 3.5 インチベイが 6 個（うちシャドウベイが 4 個）あります。  
ハードディスクは高熱を発生するので、他のドライブとの間隔を空けることが必要です、今回一番下のシャドウベイに装着しました。

ケーブルの接続する側を後ろ（ケースの内側方向）にしベイにケース内側から差し込みます。



ねじは両側それぞれ 2 か所です。軽く締めておきます。  
反対側のねじは後でまとめて取り付けます。

次に DVD マルチドライブを一番上の 5 インチベイ装着します。

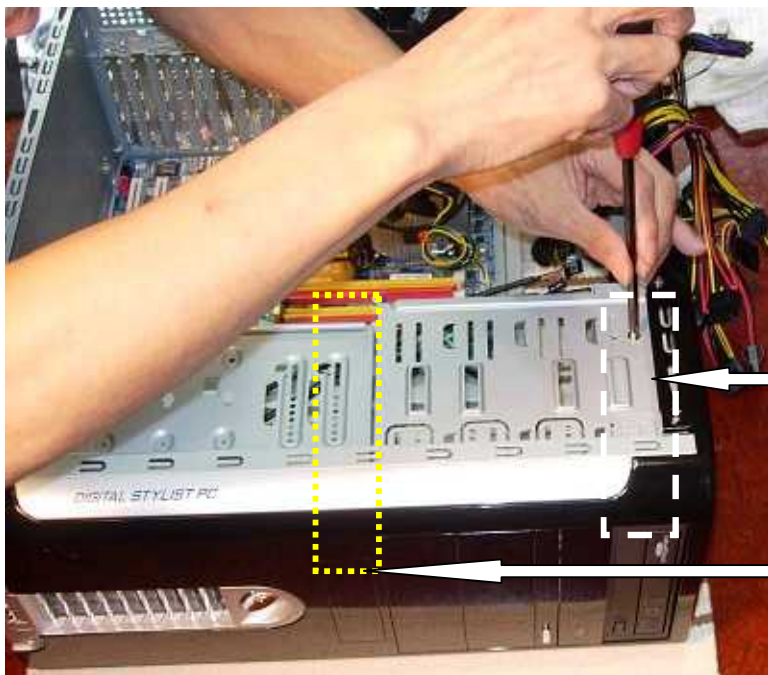
光学ドライブは前面にトレイが出てくるのでケース前面を開けておかなければなりません。  
今回は光学ドライブを 1 段目につけるので 1 段目のフタを外します。

この外し方もケースによりまちまちで、ネジ留めされているものやツメで引っかかっているもの、金属をねじ切るものなどがあります。

このケースの場合はフタがプラスチック製で内側から押し出すだけで簡単に外れました。

このケースはツメで引っかかっているものでしたので、内側から外へ押し出すと簡単に外れます。

インチねじを使用しますがドライブに付属しているねじがあればそれで取り付けます。



白点線枠内に DVD ドライブを取り付けている  
ミリねじ使用

黄色点線枠内に FDD ドライブを取り付ける  
ミリねじ使用

### FDD の装着

FDD はカードリーダー付きです。FDD はケースに付属のフラットケーブルでマザーボード上の FDD コネクタと接続しますが、カードリーダーは USB に接続します。

FDD を入れるところは 3 . 5 インチベイでケースのカバーが付いている部分です。

これも、5 インチベイのケースカバー同様、内側からカバーをはずして前から FDD を差し込みます。FDD の付属のねじは頭が小さいのでケースに付属していたねじを使いました。

ここまではケースを横にしたままの作業でしたが、ここでケースを立てます。

各ドライブの反対側のねじを付けます。両側のねじを順次締めつけます。

